



2026年卒就活意識・実態調査



レバテック株式会社が運営する、ITエンジニア専門新卒向け就職支援エージェント、レバテックルーキー (<https://rookie.levtech.jp/>) は、2026年3月卒業予定の大学生・大学院生325名(うちエンジニア職志望学生125名)を対象に、就活実態・意識調査を実施しました。

〈調査サマリー※一部抜粋〉

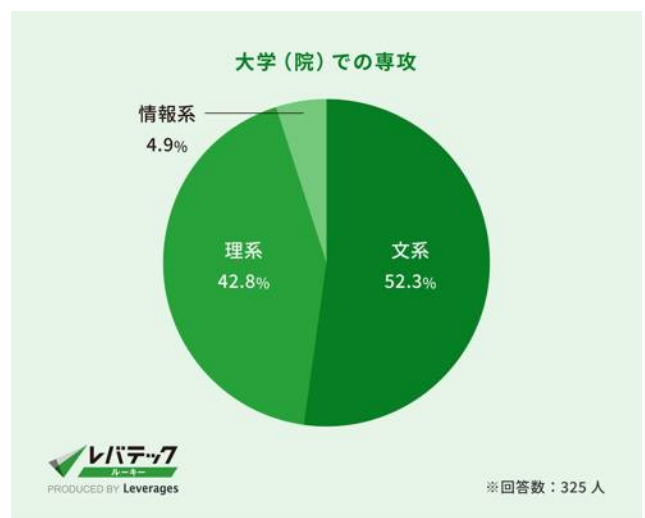
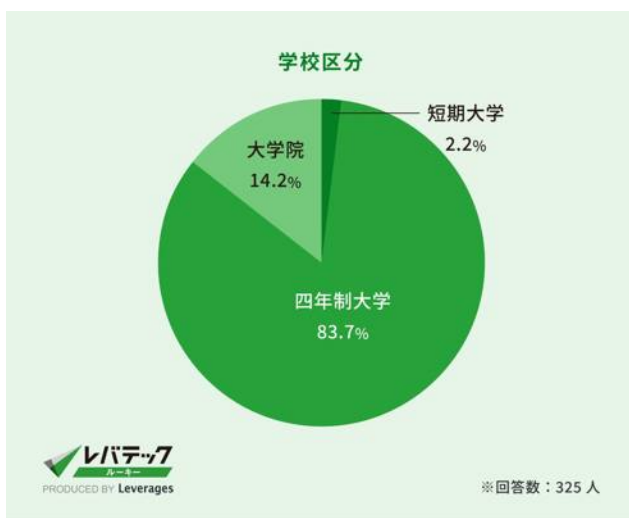
1. 就活解禁日を前に、約3割のエンジニア志望学生が内定を保有
2. エンジニア職を目指した理由、1位は「自分が作ったもので社会に貢献したいから」
3. 就職活動において最も難しいと感じることは「相談できる先輩や友人が少ない」に
4. エンジニアを志望する学生の約4割が「業務で生成AIの使用を認める企業の志望度が上がる」と回答
5. 26卒エンジニア志望学生の約6割が転職を視野に
6. エンジニア職を志望する学生が理想とする初任給は「28万以上～30万未満」が最多
7. 約4人に1人のエンジニア職を志望する学生が「出世したくない」と回答、責任やストレスが理由に

〈目次〉

1. 回答属性について
2. 就活状況について

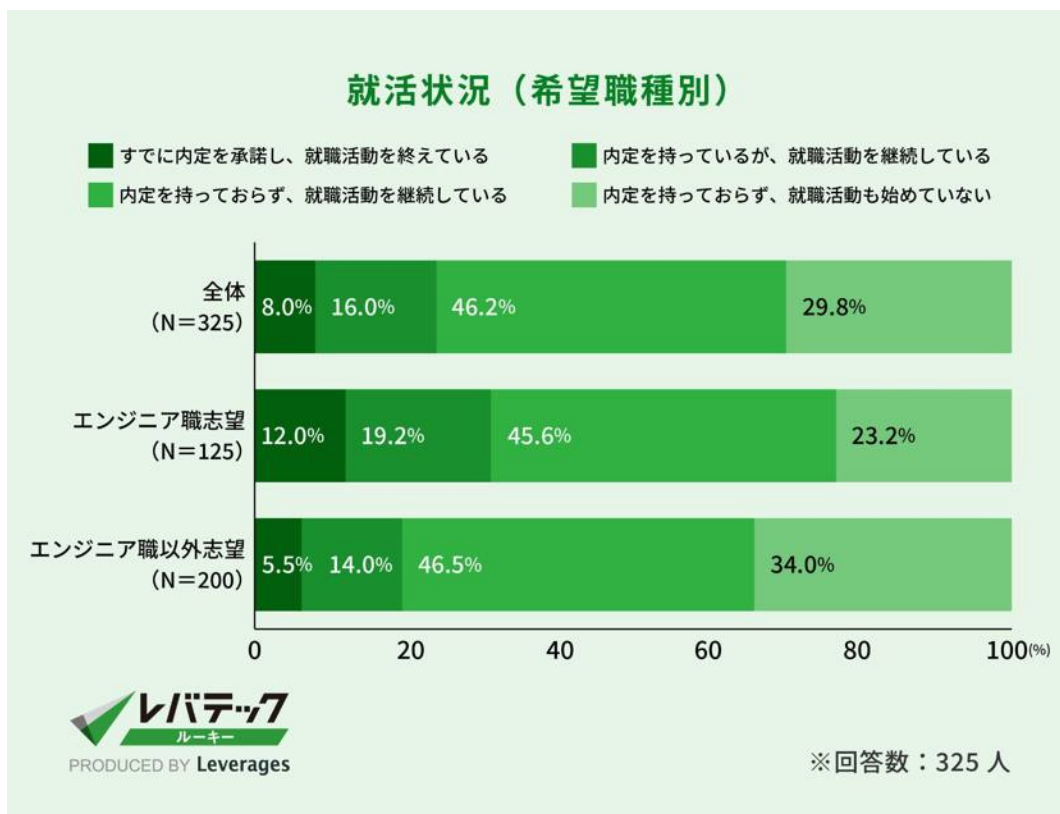
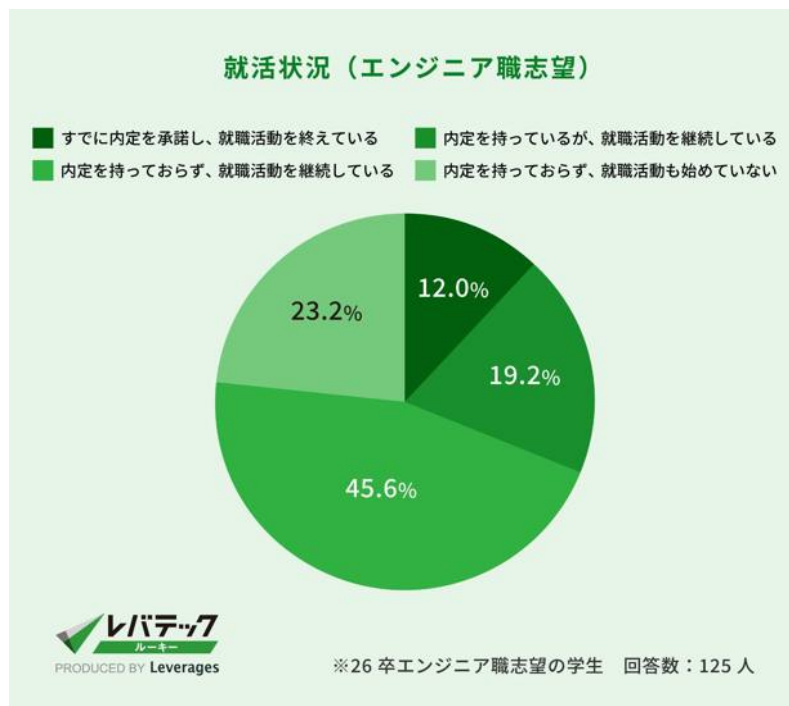
3. 選考社数
4. エンジニアを目指した理由
5. 就職活動に対する自信
6. 就職活動において最も難しい感じること
7. 情報収集の手段と相談先について
8. 職業観について
9. 生成AIの利用について
10. 転職について
11. 初任給について
12. 出世欲について

1.回答属性について

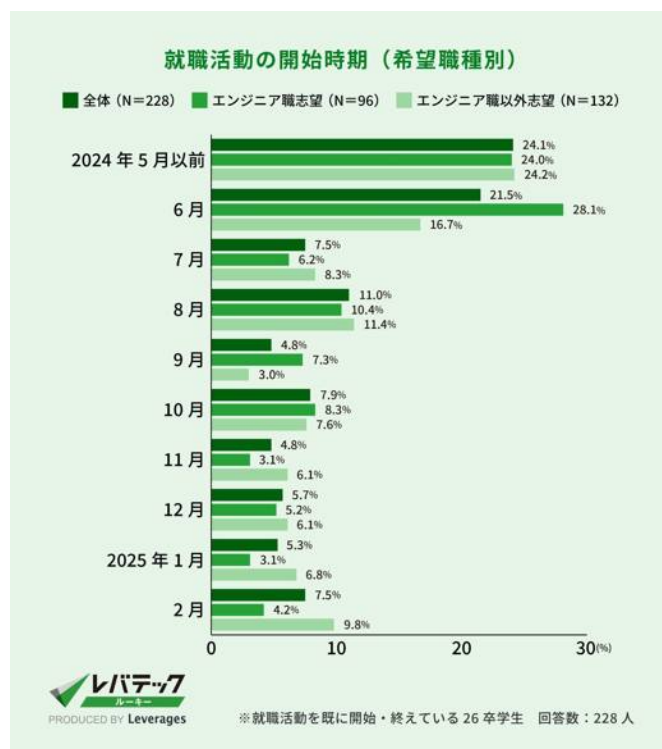
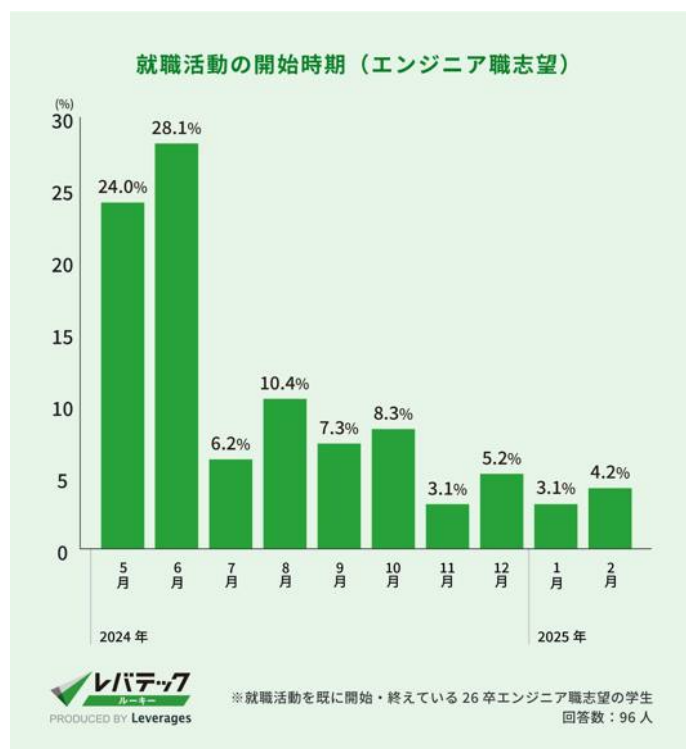


2.就活状況について

就職活動を既に開始*1している2026年卒のエンジニア志望学生*2は約8割となりました(2025年2月時点)。エンジニア志望学生の内定保有率*3は31.2%となり、約3人に1人が、就活解禁日前に内定を得ています。



就職活動を開始した時期は「2024年6月(28.1%)」が最多となり、「2024年5月以前(24.0%)」と続く結果となりました。エンジニア職を志望する学生の約半数が、卒業前年度の6月末までに就職活動を開始していることが分かります。



*1 就職活動開始＝適性検査や説明会を受け始める時期として回答

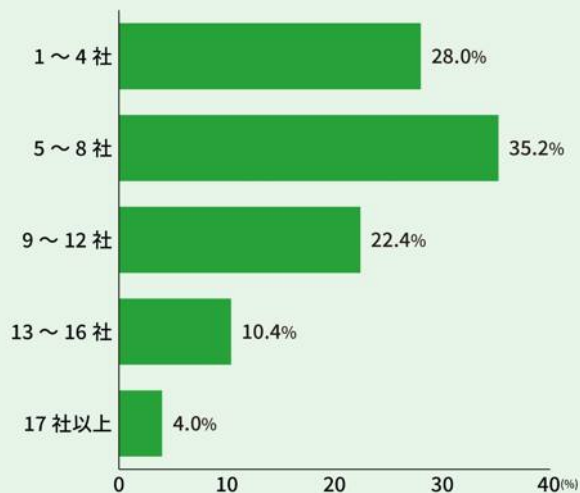
*2 本調査では、学生の希望職種を「エンジニア職志望」と「エンジニア職以外志望(営業、企画など)」に分類しています。エンジニア職とその他職種を併願している学生は「エンジニア職希望」に含めて集計しています。

*3 「すでに内定を承諾し、就職活動を終えている(8.0%)」「内定を持っているが、就職活動を継続している(16.0%)」と回答した方の合計

3.選考社数について

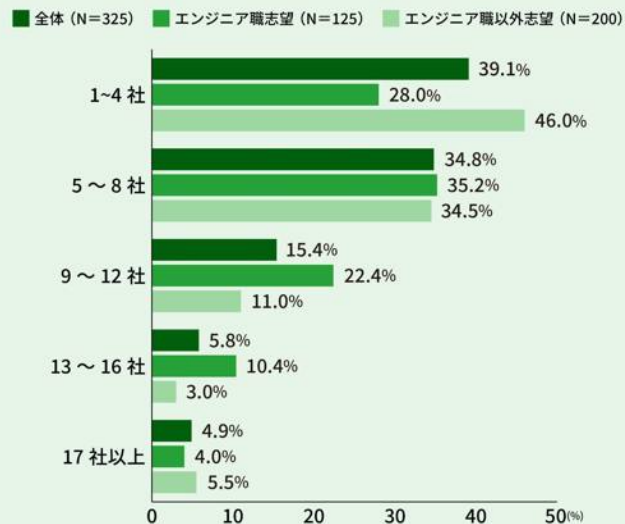
2026年卒エンジニア職を志望する学生が、就職先を決定するまでに受けたい企業数として最も多いのは「5～8社(35.2%)」が最も多く、次いで「1～4社(28.0%)」と続きます。一方、エンジニア職以外を志望する学生は「1～4社(46.0%)」が最多であり、より厳選した企業選択をしている傾向が見られます。

就職先を決定するまでに受けた企業数（エンジニア職志望）



※26 卒エンジニア職志望の学生 回答数：125人

就職先を決定するまでに受けた企業数（希望職種別）

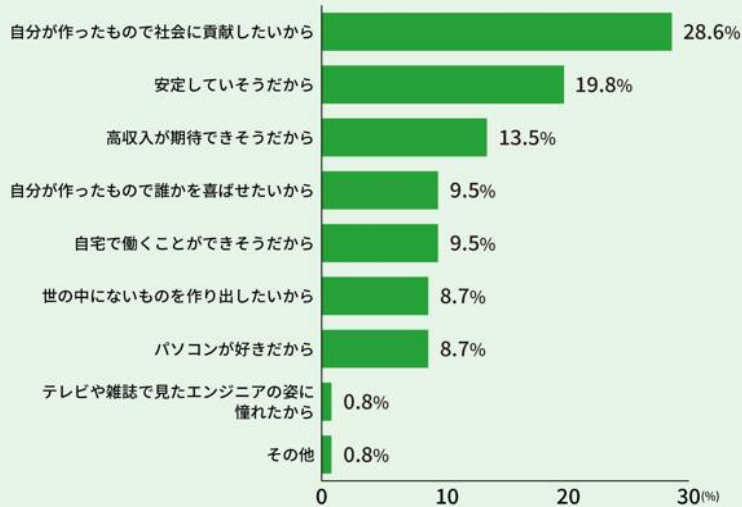


※回答数：325人

4.エンジニア職を目指した理由

2026年卒のエンジニア職を志望する学生がエンジニア職を目指した理由は「自分が作ったもので社会に貢献したいから(28.6%)」が1位となり、「安定していそうだから(19.8%)」「高収入が期待できそうだから(13.5%)」が続く結果となりました。業務への興味に加え、待遇の良さなども志望する理由になっていることが分かります。

エンジニア職を目指した理由



※26 卒エンジニア職志望の学生 回答数：125 人

エンジニア職を目指した理由（専攻別）

	文系 (N=30)	理系・情報系 (N=95)
1位	自分が作ったもので社会に貢献したいから (29.0%)	自分が作ったもので社会に貢献したいから (28.4%)
2位	自宅で働くことができそうだから (19.4%)	安定していそうだから (21.1%)
3位	安定していそうだから (16.1%)	高収入が期待できそうだから (13.7%)



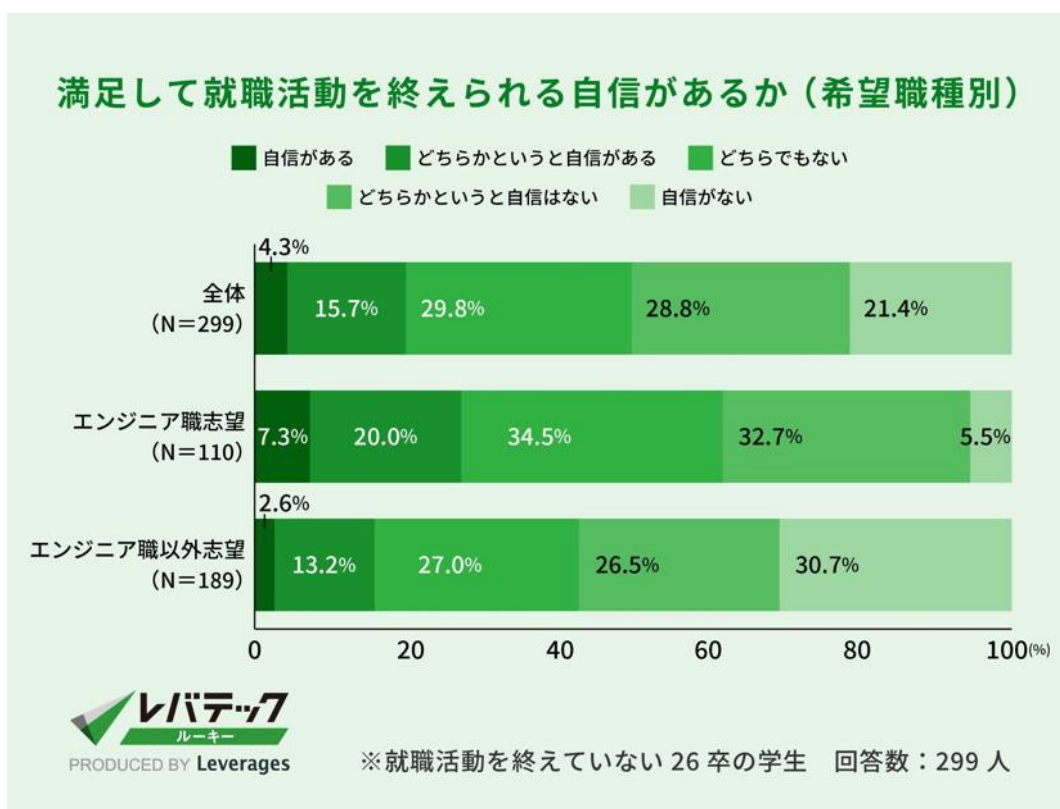
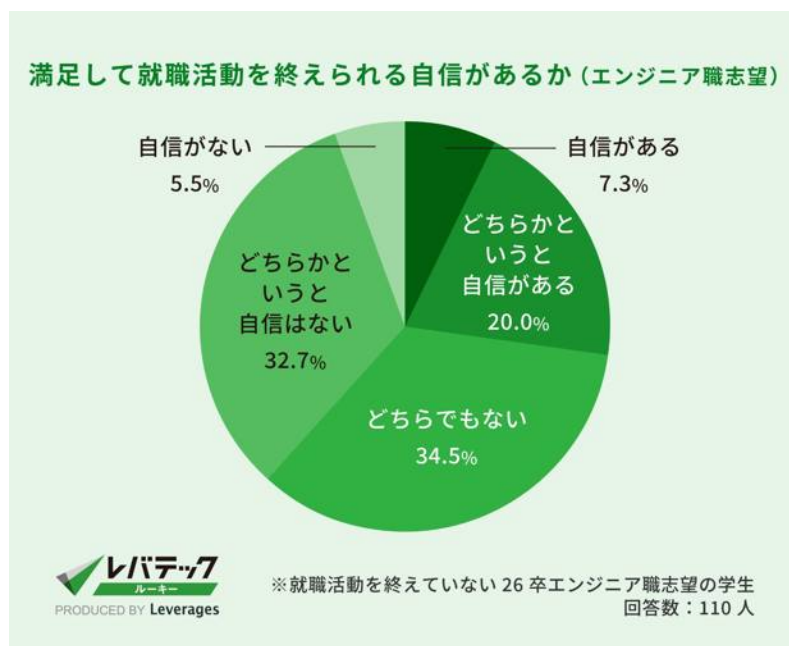
※26 卒エンジニア職志望の学生 回答数：125 人

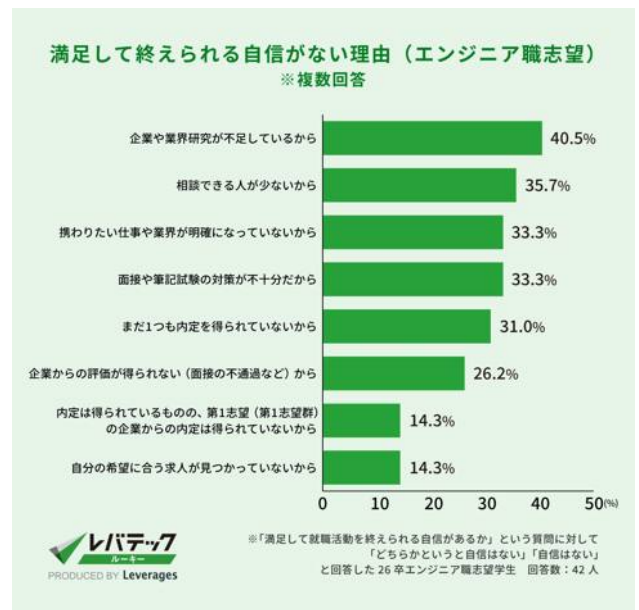
5.就職活動に対する自信

2025年2月時点で就職活動を終わっていないエンジニア職志望学生に「就職活動を満足して終わられる自信があるか」と聞いたところ、「自信がある(7.3%)」「どちらかという自信がある(20.0%)」と回答した方は合わせて3割を下回りました。

自信があると回答した理由としては「やりたい職種や業務が定まっているから(43.3%)」「周りの人からの十分なサポートが得られているから(36.7%)」が挙げられました。

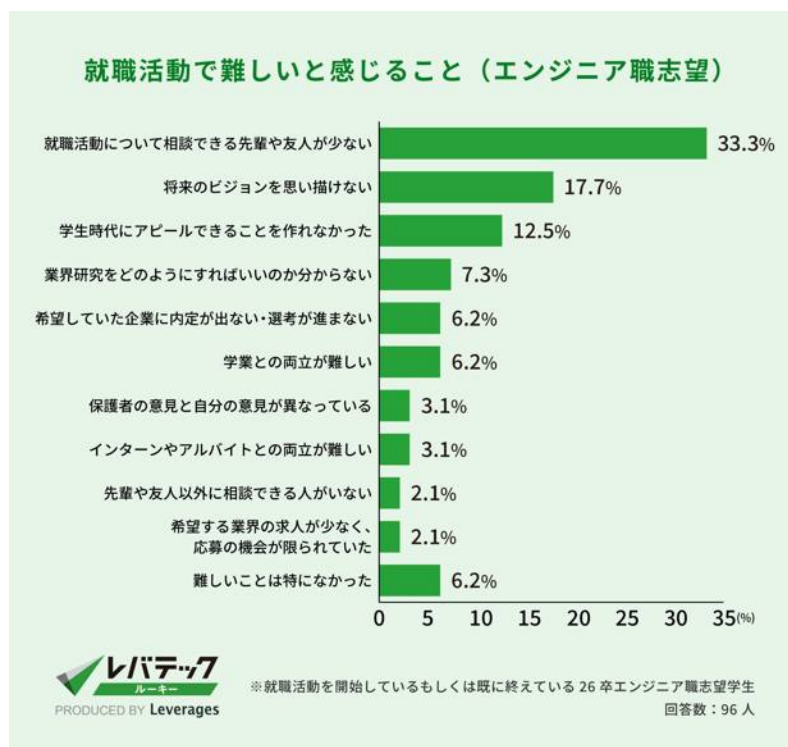
また、約4割の学生は就職活動を満足して終わられる自信がないと回答しています。その理由として、「企業や業界研究が不足しているから(40.5%)」や「面接や筆記試験の対策が不十分だから(33.3%)」が上位に挙がっており、事前の準備不足が自信の欠如に繋がっていることが分かります。





6.就職活動において最も難しい感じること

2026年卒のエンジニア職を志望する学生が、就職活動において最も難しいと感じる・感じたことは「相談できる先輩や友人が少ない（33.3%）」が最も多い結果となりました。次いで「将来のビジョンを思い描けない（17.7%）」「学生時代にアピールできることを作れなかった（12.5%）」と続きます。面接対策や企業研究だけでなく、適切な相談相手を見つけることに難しさを感じていることが分かります。



就職活動で難しいと感じること（希望職種別）

	全体 (N=228)	エンジニア職志望 (N=96)	エンジニア職以外志望 (N=132)
1位	就職活動について 相談できる先輩や友人 が少ない(32.9%)	就職活動について 相談できる先輩や友人 が少ない(33.3%)	就職活動について 相談できる先輩や友人 が少ない(32.6%)
2位	将来のビジョンを 思い描けない(18.4%)	将来のビジョンを 思い描けない(17.7%)	将来のビジョンを 思い描けない(18.9%)
3位	学生時代にアピール できることを 作れなかった(10.1%)	学生時代にアピール できることを 作れなかった(12.5%)	先輩や友人以外に 相談できる人がいない (12.1%)

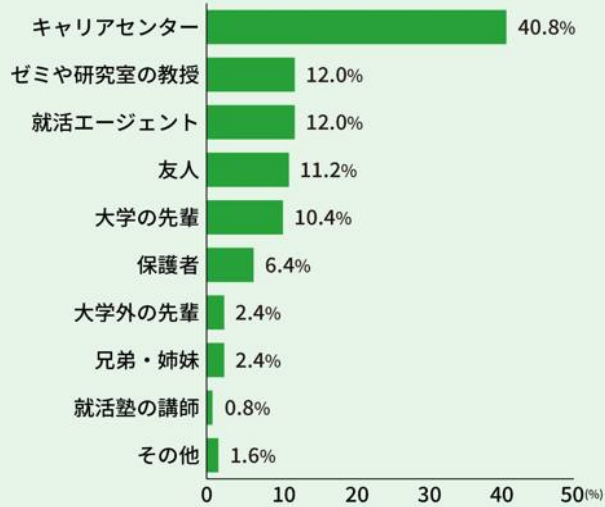


※就職活動を開始しているもしくは既に終わっている
26 卒学生 回答数：228 人

7.情報収集の手段と相談先について

2026年卒のエンジニア職を志望する学生が、就職活動において最も信頼している相談先は「キャリアセンター(40.8%)」が1位でした。

就職活動において最も信頼している相談先（エンジニア職志望）



※26 卒エンジニア職志望の学生 回答数：125 人

就職活動において最も信頼している相談先（希望職種別）

	全体 (N=325)		エンジニア職志望 (N=125)		エンジニア職以外志望 (N=200)
1位	キャリアセンター (40.6%)	1位	キャリアセンター (40.8%)	1位	キャリアセンター (40.5%)
2位	ゼミや研究室の教授 (12.0%)	2位	就活エージェント (12.0%)	2位	ゼミや研究室の教授 (12.0%)
3位	就活エージェント (9.8%)		ゼミや研究室の教授 (12.0%)	3位	保護者 (11.5%)



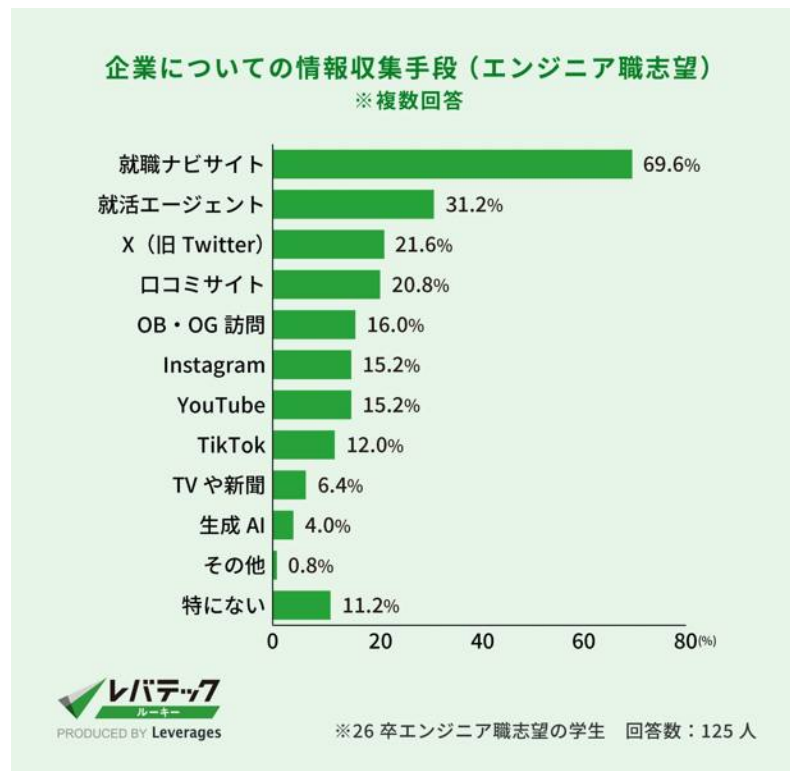
※回答数：325 人

企業に関する情報収集の手段としては「就職ナビサイト(69.6%)」「就活エージェント(31.2%)」が上位に挙げられました。エンジニア職を志望する学生においては、他の職種を志望する場合と比較して、エージェントによる専門的なアドバイスや求人紹介の需要が高いと考えられます。

レバテックの調査では、社会人エンジニアはエンジニア就活における適切な相談相手として、「エンジニアの社会人」や「学校のOB・OG」「就活エージェント」を上位に挙げています*4。より良いファーストキャリアを形成するために、業界の知識や企業の内部情報に精通した人に相談することも有効な手段となり得るのではないのでしょうか。

*4 2021年12月発表 「社会人エンジニアに聞く、企業の選び方調査」

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000433.000010591.html>



企業についての情報収集手段（希望職種別）

	全体 (N=325)	エンジニア職志望 (N=125)	エンジニア職以外志望 (N=200)
1位	就職ナビサイト (59.4%)	就職ナビサイト (69.6%)	就職ナビサイト (53.0%)
2位	就活エージェント (23.4%)	就活エージェント (31.2%)	特に無い(25.5%)
3位	X(旧 Twitter) (21.8%)	X(旧 Twitter) (21.6%)	X(旧 Twitter) (22.0%) Instagram(22.0%)



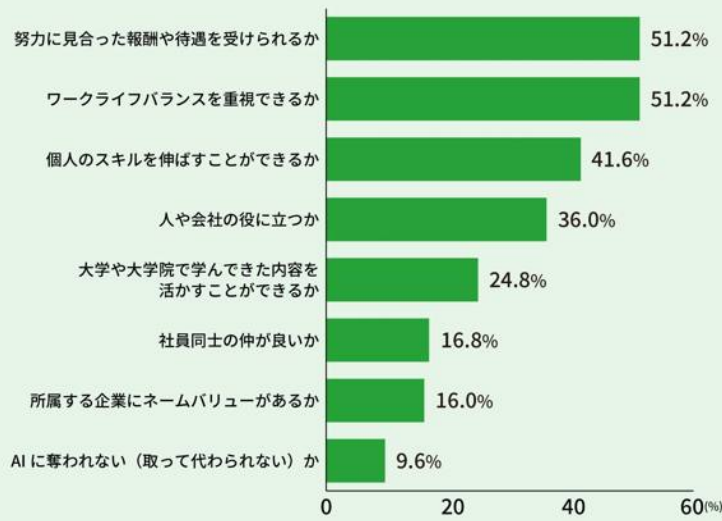
※回答数：325人

8.職業観について

仕事をするうえで大切にしたいことは「努力に見合った報酬や待遇を受けられるか(51.2%)」「ワークライフバランスを重視できるか(51.2%)」が上位に挙がりました。

仕事をするうえで大切にしたいこと（エンジニア職志望）

※複数回答



PRODUCED BY Leverages

※26 卒エンジニア職志望の学生 回答数：125 人

仕事をするうえで大切にしたいこと（希望職種別）

	全体 (N=325)		エンジニア職志望 (N=125)		エンジニア職以外志望 (N=200)
1位	ワークライフバランスを重視できるか (51.1%)	1位	努力に見合った報酬や待遇を受けられるか (51.2%)	1位	ワークライフバランスを重視できるか (51.0%)
2位	努力に見合った報酬や待遇を受けられるか (44.6%)		ワークライフバランスを重視できるか (51.2%)	2位	努力に見合った報酬や待遇を受けられるか (40.5%)
3位	個人のスキルを伸ばすことができるか (31.7%)	2位	個人のスキルを伸ばすことができるか (41.6%)	3位	人や会社の役に立つか (29.0%)



PRODUCED BY Leverages

※回答数：325 人

企業を選ぶうえで譲れない条件は「完全週休2日制(41.6%)」が最も多く、次いで「希望の勤務地で働ける(35.2%)」「年間休日の多さ(33.6%)」が続きます。2026年卒の学生は、ワークライフバランスを重視する傾向が強いことがうかがえます。

企業を選ぶうえで譲れない条件（エンジニア職志望）

※複数回答



PRODUCED BY Leverages

※26 卒エンジニア職志望の学生 回答数：125 人

企業を選ぶうえで譲れない条件（希望職種別）

	全体 (N=325)	エンジニア職志望 (N=125)	エンジニア職以外志望 (N=200)
1位	完全週休2日制 (42.8%)	完全週休2日制 (41.6%)	完全週休2日制 (43.5%)
2位	年間休日の多さ (37.8%)	希望の勤務地で 働けること(35.2%)	年間休日の多さ (40.5%)
3位	希望の勤務地で 働けること(27.4%)	年間休日の多さ (33.6%)	初任給の高さ (23.5%)

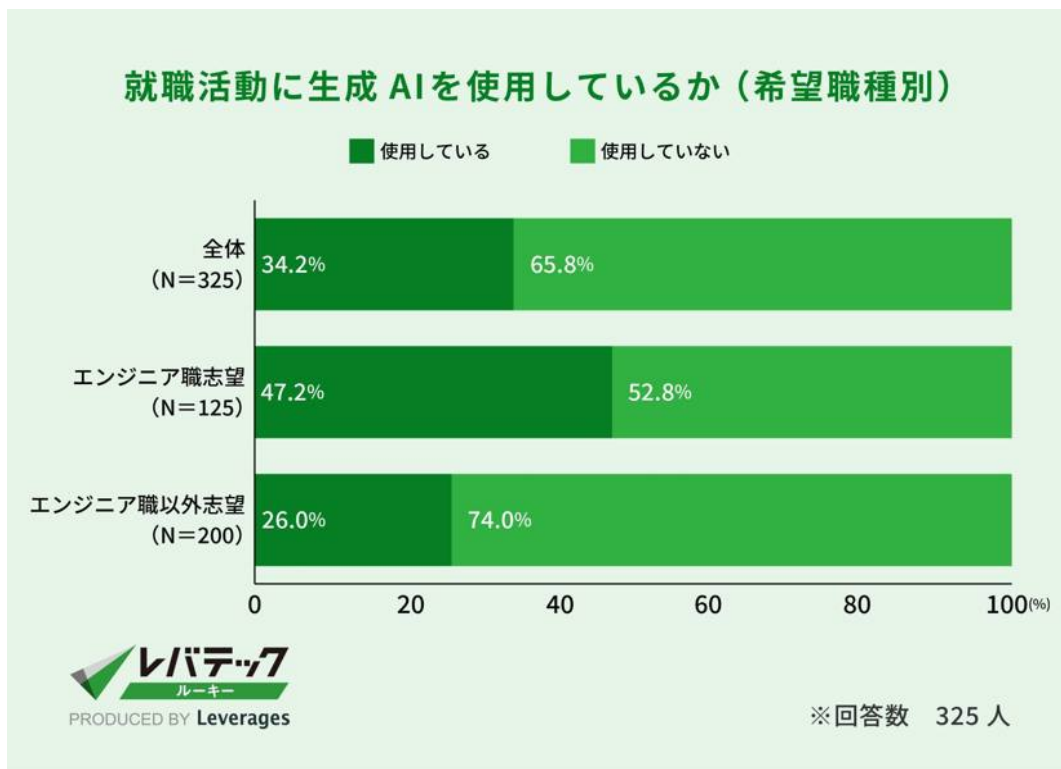
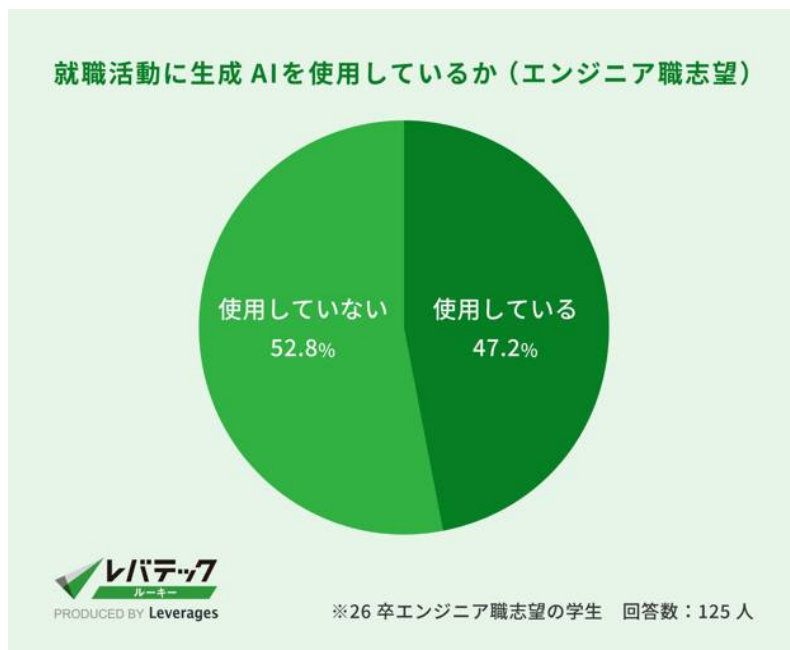


PRODUCED BY Leverages

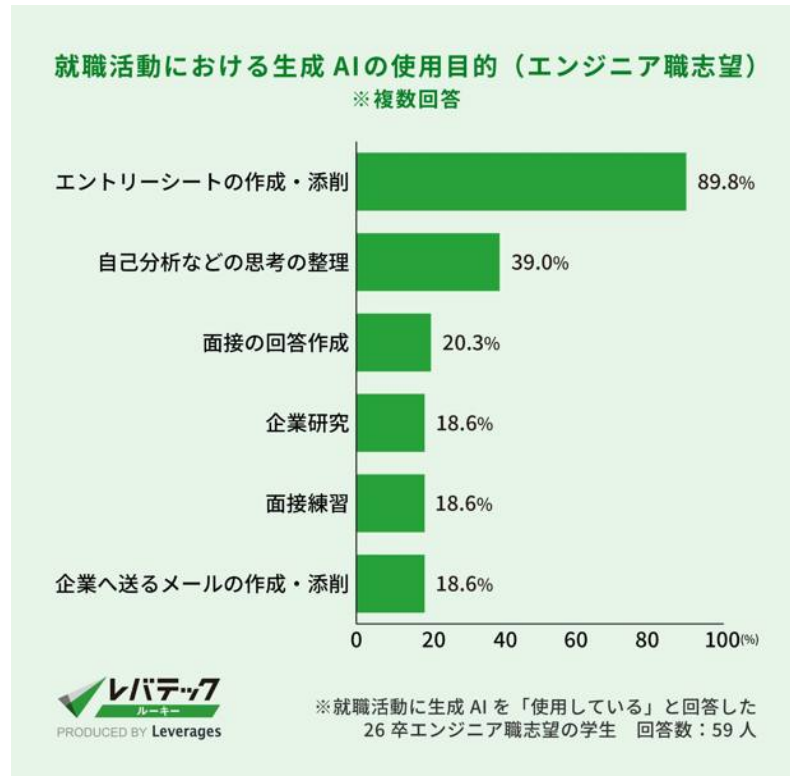
※回答数：325 人

9.生成AIの利用について

就職活動に生成AIを使用している2026年卒のエンジニア職を志望する学生は約47%でした。エンジニア職以外を志望している学生の利用率(26.0%)と比較して、20ポイント以上高いことが分かります。



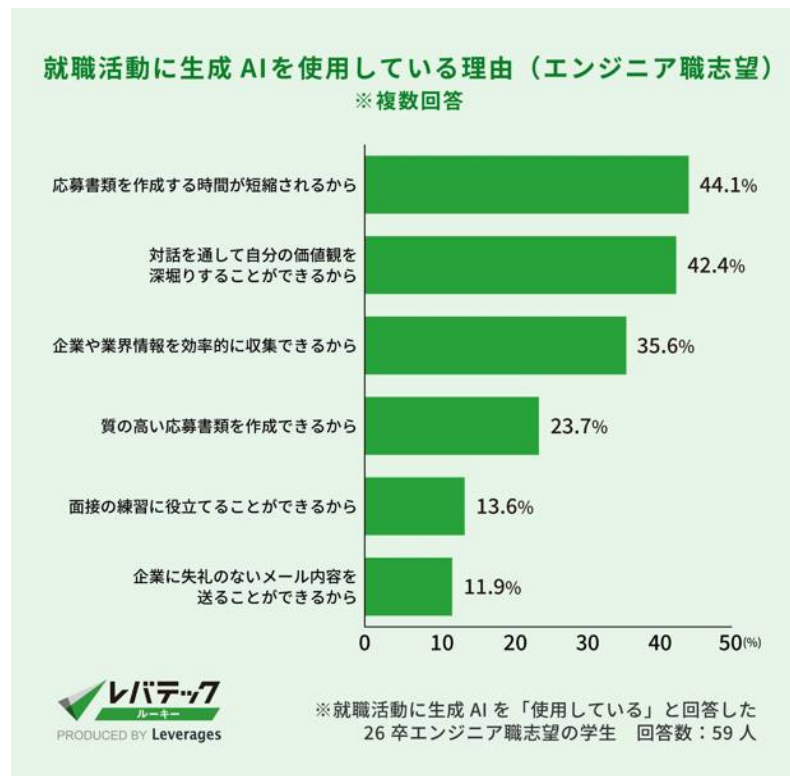
生成AIの使用目的は「エントリーシートの作成・添削(89.8%)」が圧倒的に多い結果となりました。次いで「自己分析などの思考の整理(39.0%)」「面接の回答作成(20.3%)」と続きます。



就職活動における生成 AI の使用目的（希望職種別）

	全体 (N=111)	エンジニア職志望 (N=59)	エンジニア職以外志望 (N=52)
1位	エントリーシートの作成・添削 (75.7%)	エントリーシートの作成・添削 (89.8%)	エントリーシートの作成・添削 (59.6%)
2位	自己分析などの思考の整理 (38.7%)	自己分析などの思考の整理 (39.0%)	自己分析などの思考の整理 (38.5%)
3位	企業研究 (24.3%)	面接の回答作成 (20.3%)	企業研究 (30.8%)

エンジニア志望学生の使用理由は「応募書類を作成する時間が短縮されるから(44.1%)」が最多でした。一方で使用していない理由は「情報の正確性に不安があるから(31.8%)」が最も多い結果となりました。生成AIは就職活動ツールとして定着しつつありますが、情報の信頼性に懸念を持つ学生も一定数いることが分かります。



就職活動に生成 AI を使用している理由（希望職種別）

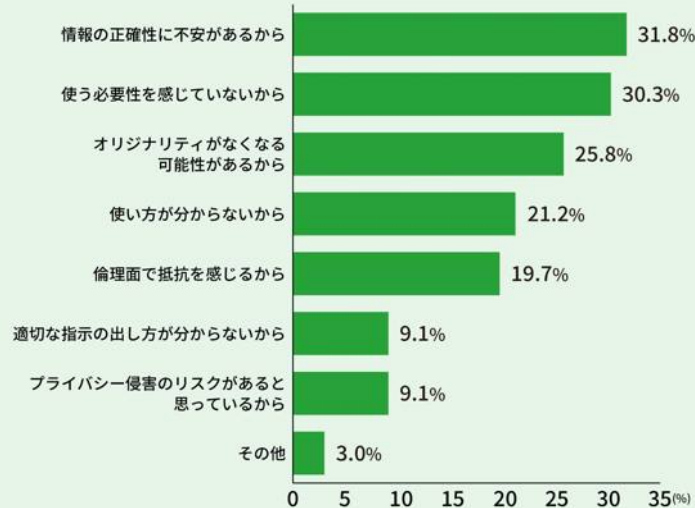
	全体 (N=111)	エンジニア職志望 (N=59)	エンジニア職以外志望 (N=52)
1位	応募書類を作成する時間が短縮されるから (38.7%)	応募書類を作成する時間が短縮されるから (44.1%)	質の高い応募書類を作成できるから (40.4%)
2位	企業や業界情報を効率的に収集できるから (33.3%)	対話を通して自分の価値観を深掘りすることができるから (42.4%)	応募書類を作成する時間が短縮されるから (32.7%)
3位	質の高い応募書類を作成できるから (31.5%)	企業や業界情報を効率的に収集できるから (35.6%)	企業や業界情報を効率的に収集できるから (30.8%)



※就職活動に生成 AI を「使用している」と回答した 26 卒学生 回答数：111 人

就職活動に生成 AI を使用していない理由（エンジニア職志望）

※複数回答



※就職活動に生成 AI を「使用していない」と回答した 26 卒エンジニア職志望学生 66 人

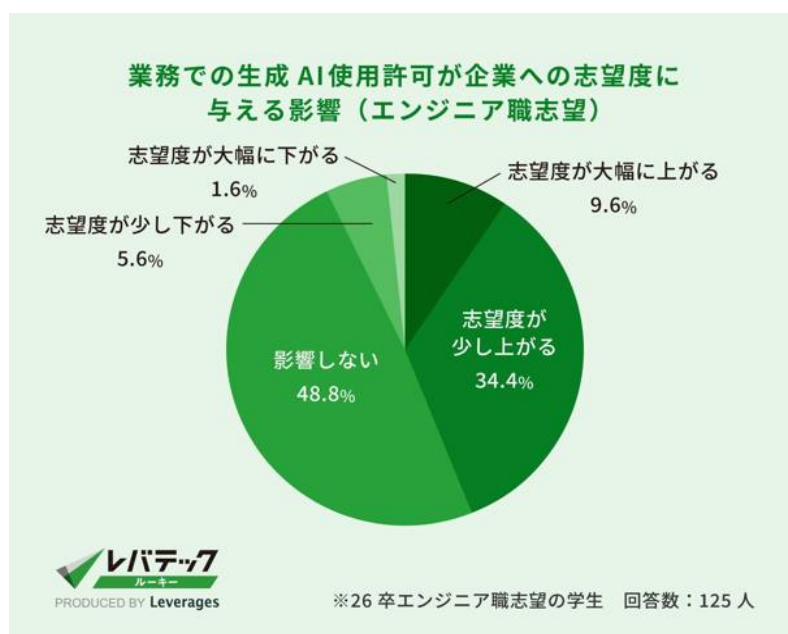
就職活動に生成 AI を使用していない理由（希望職種別）

	全体 (N=214)	エンジニア職志望 (N=66)	エンジニア職以外志望 (N=148)
1位	使う必要性を感じていないから (34.1%)	情報の正確性に不安があるから (31.8%)	使う必要性を感じていないから (35.8%)
2位	使い方が分からないから (26.6%)	使う必要性を感じていないから (30.3%)	使い方が分からないから (29.1%)
3位	情報の正確性に不安があるから (26.2%)	オリジナリティがなくなる可能性があるから (25.8%)	情報の正確性に不安があるから (23.6%)

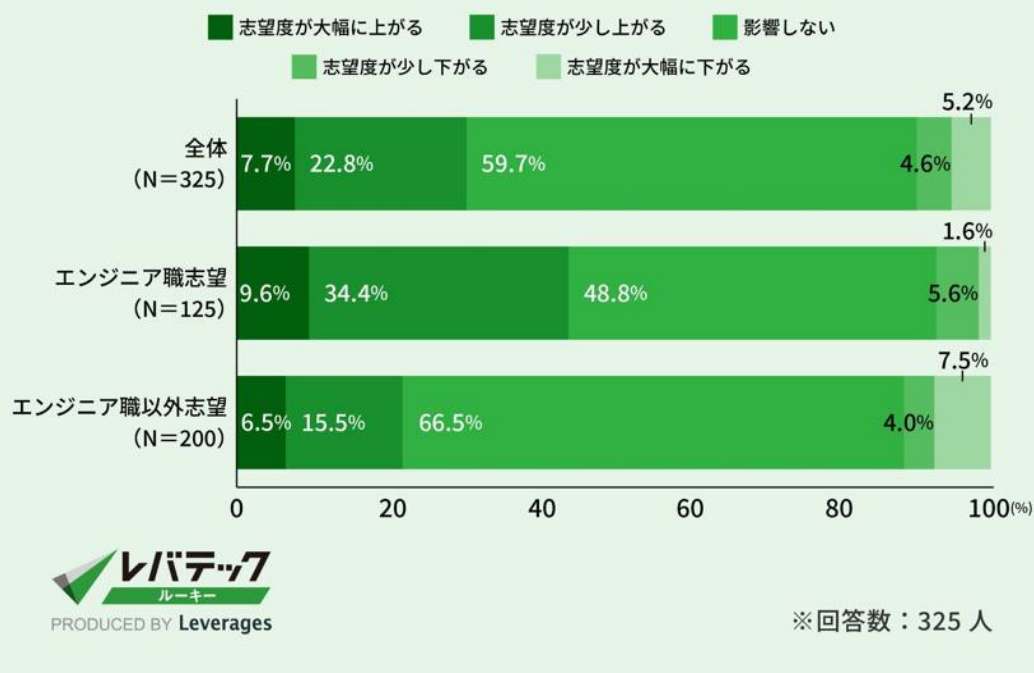


※就職活動に生成 AI を「使用していない」と回答した
26 卒学生 214 人

「業務で生成 AI の使用が認められていることは企業の志望度に影響を与えるか」という質問に対し、2026 年卒のエンジニア職を志望する学生の約 4 割が「志望度が上がる」と回答しました。エンジニア職以外を志望する学生と比べて、22 ポイント高い数値となっています。

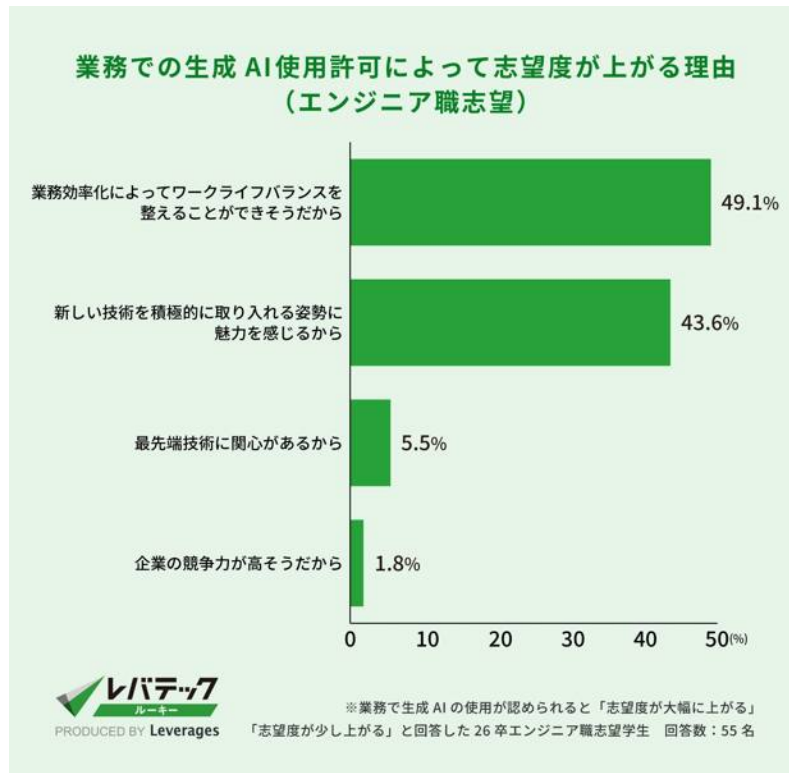


業務での生成 AI 使用許可が企業への志望度に与える影響（希望職種別）



志望度が上がる理由は「業務効率化をすることでワークライフバランスを整えることができそうだから(49.1%)」「新しい技術を積極的に取り入れる姿勢に魅力を感じるから(43.6%)」となりました。生成AIによる業務効率化だけでなく、企業の技術革新への取り組みも学生の志望度に影響を与える要素になっていることが分かります。

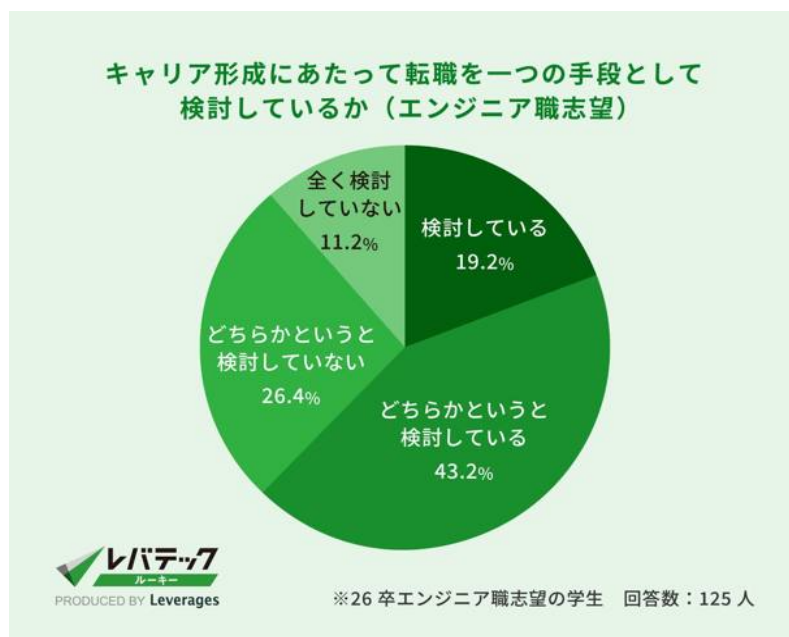
レバテックの調査では、生成AIの出現により約4割の採用担当者が「求めるスキルが変化した」と回答しています*5。生成AIは採用活動に変化をもたらすだけでなく、学生が企業を選ぶ際にも大きな影響を与え、企業の競争力を左右する重要な要素となりつつあるようです。

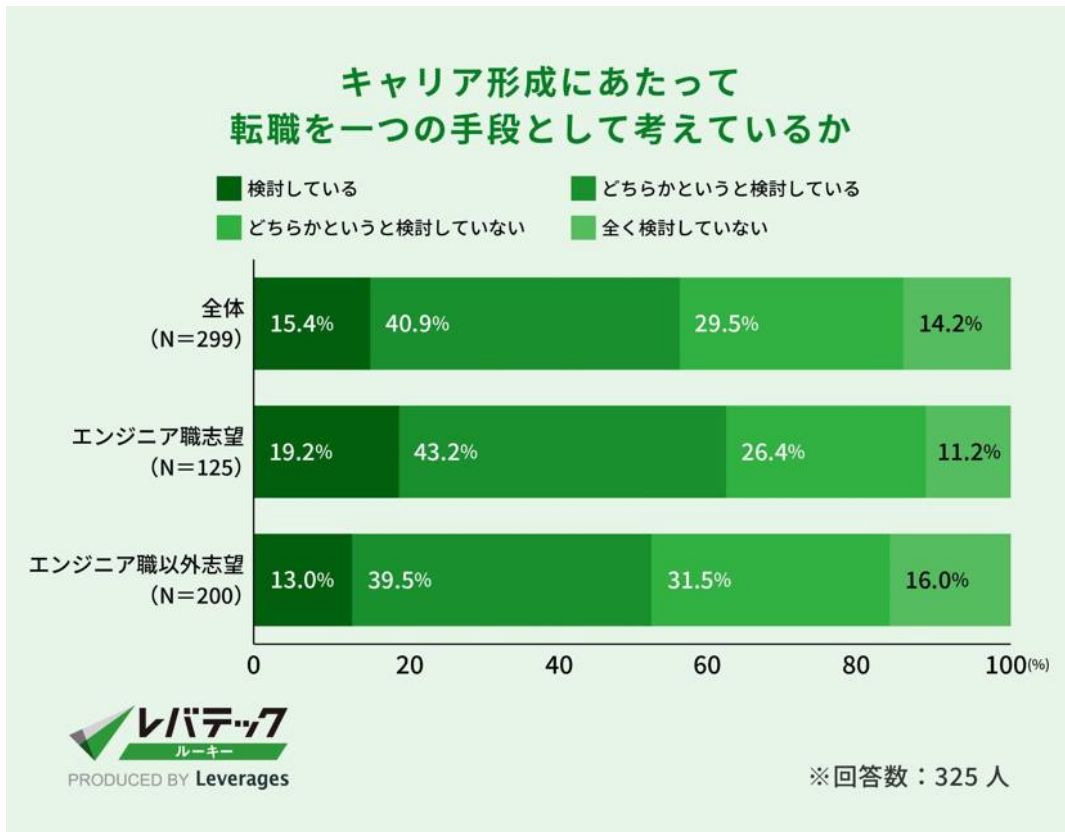


*5 2025年2月発表 「生成AI時代における、IT人材の採用動向と働き方に関する調査」
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000724.000010591.html>

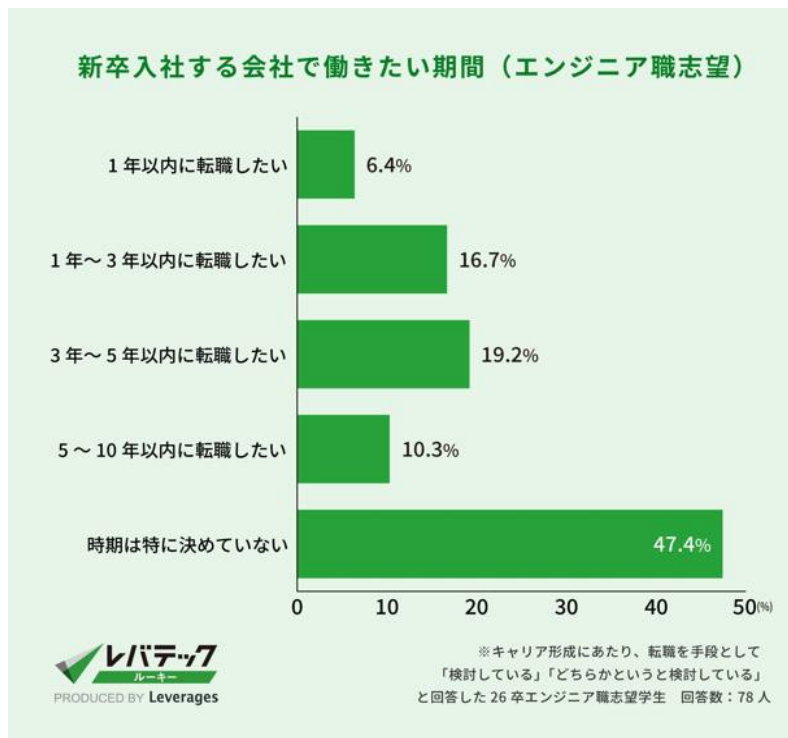
10. 転職について

「今後のキャリア形成にあたって転職を一つの手段として考えているか」という質問に対して、2026年卒のエンジニア志望学生の約6割が「検討している(19.2%)」「どちらかというと検討している(43.2%)」と回答しました。





転職を検討しているエンジニア職志望学生が、新卒入社する会社で働きたい期間について「時期は決めていない(47.4%)」が多いものの、約4割が5年以内の転職を意識しています。

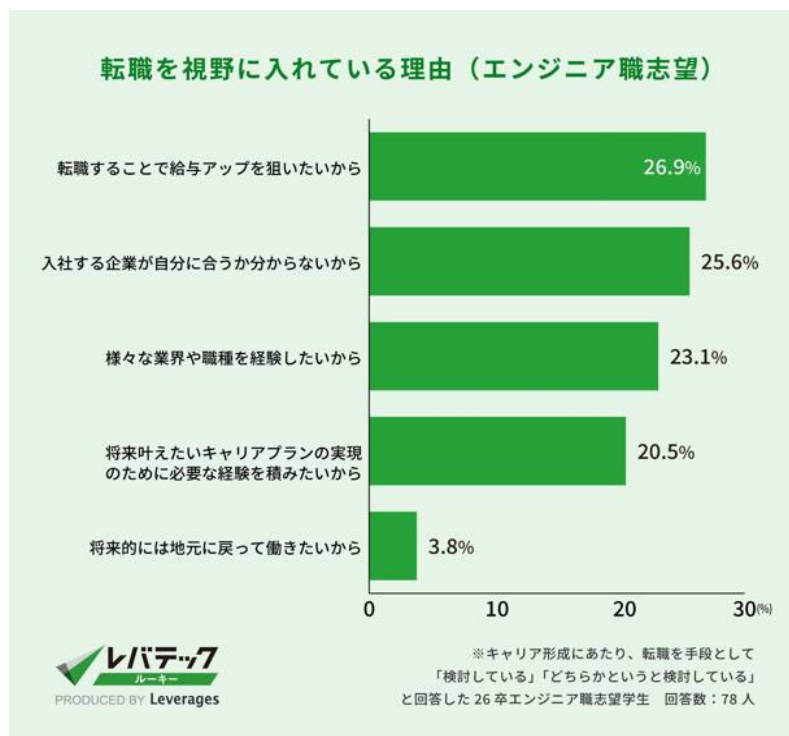




転職を視野に入れている理由として、「転職することで給与アップを狙いたいから(26.9%)」が最多となりました。社会人のIT人材を対象とした調査でも、転職経験者の約6割が「転職によって年収が増えた」と回答しています*6。転職は、多くのIT人材にとって収入アップの有効な手段となっているようです。

*6 レバテックIT人材白書2025

https://levtech.jp/files/doc/levtech_research_2025.pdf



転職を視野に入れている理由（希望職種別）

	全体 (N=183)	エンジニア職志望 (N=78)	エンジニア職以外志望 (N=105)
1位	入社する企業が自分に合うか分からないから (33.9%)	転職することで給与アップを狙いたいから (26.9%)	入社する企業が自分に合うか分からないから (40.0%)
2位	様々な業界や職種を経験したいから (23.5%)	入社する企業が自分に合うか分からないから (25.6%)	様々な業界や職種を経験したいから (23.8%)
3位	転職することで給与アップを狙いたいから (19.1%)	様々な業界や職種を経験したいから (23.1%)	将来叶えたいキャリアプランの実現のために必要な経験を積みたいから (17.1%)

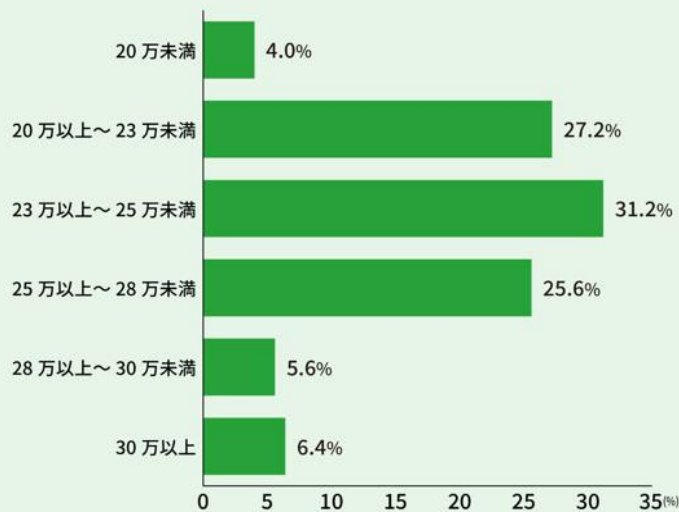


※キャリア形成にあたり、転職を手段として「検討している」「どちらかという検討している」回答した 26 卒学生 回答数：183 人

11.初任給について

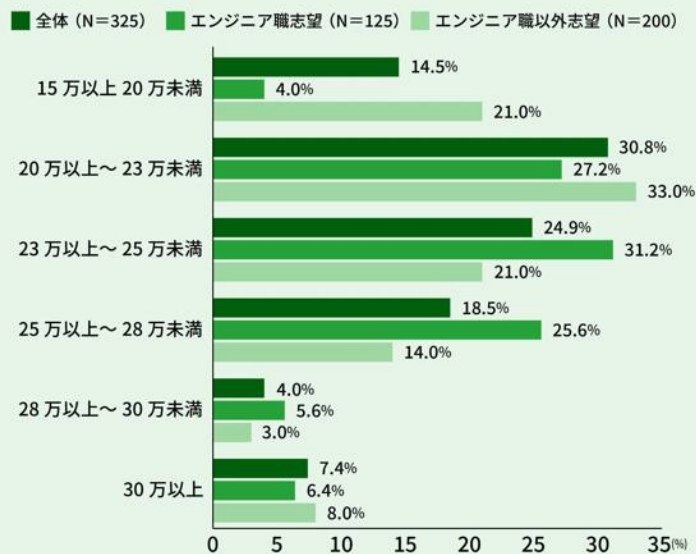
2026年卒のエンジニア職を志望する学生が入社を検討できる初任給については「23万以上～25万未満(31.2%)」が最も多い結果となりました。

エンジニア職志望学生が入社を検討できる初任給（額面上）



※26卒エンジニア職志望学生 回答数：125人

入社を検討できる初任給（希望職種別）

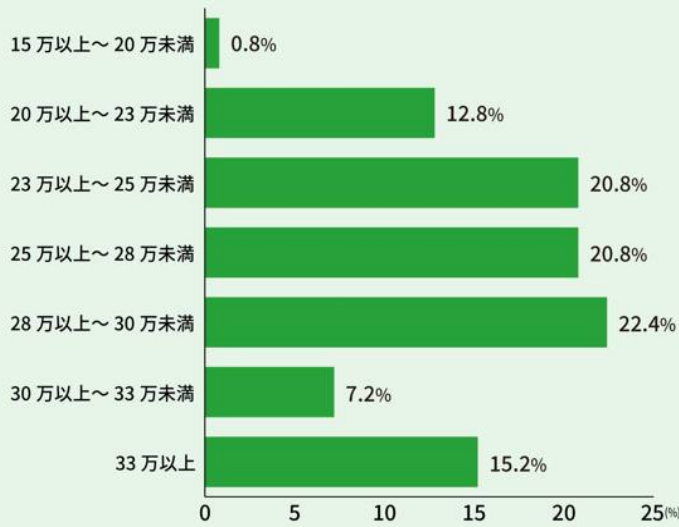


※回答数：325人

理想とする初任給は「28万以上～30万未満(22.4%)」が最多となり、次いで「23万以上～25万未満(20.8%)」「25万以上～28万未満(20.8%)」が同率2位になりました。

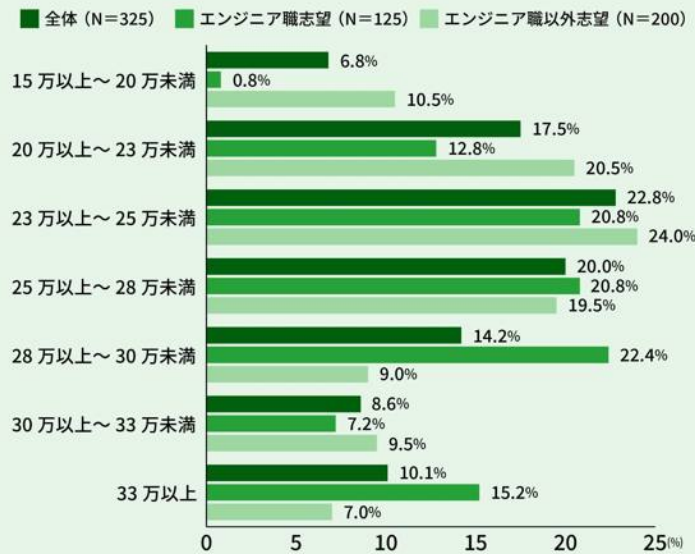
優秀な新卒エンジニアの獲得競争が激化する中、企業による初任給引き上げの動きも活発化しています。一方で、若手や中堅社員の処遇との「逆転」が生じると社員のモチベーション低下に繋がる可能性も否定できません。既存社員との給与バランスや競合他社の動向を踏まえつつ、適切な処遇を設定することが重要となるでしょう。

エンジニア職志望学生の理想の初任給（額面上）



※26卒エンジニア職志望の学生 回答数：125人

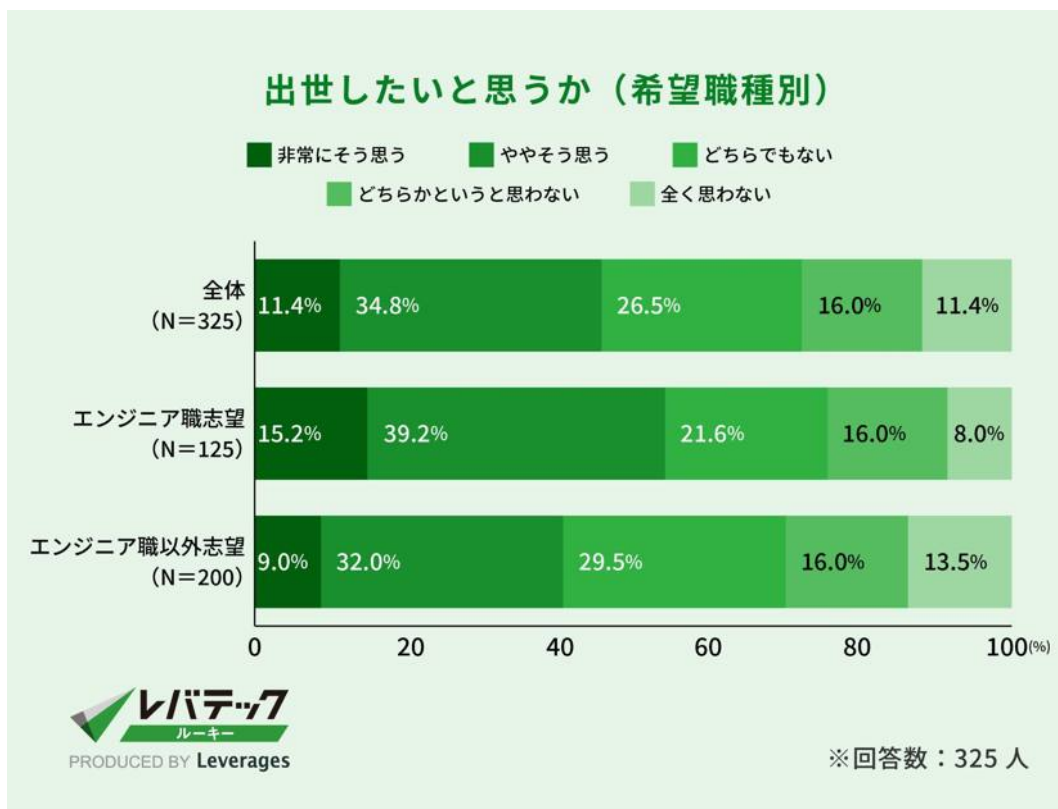
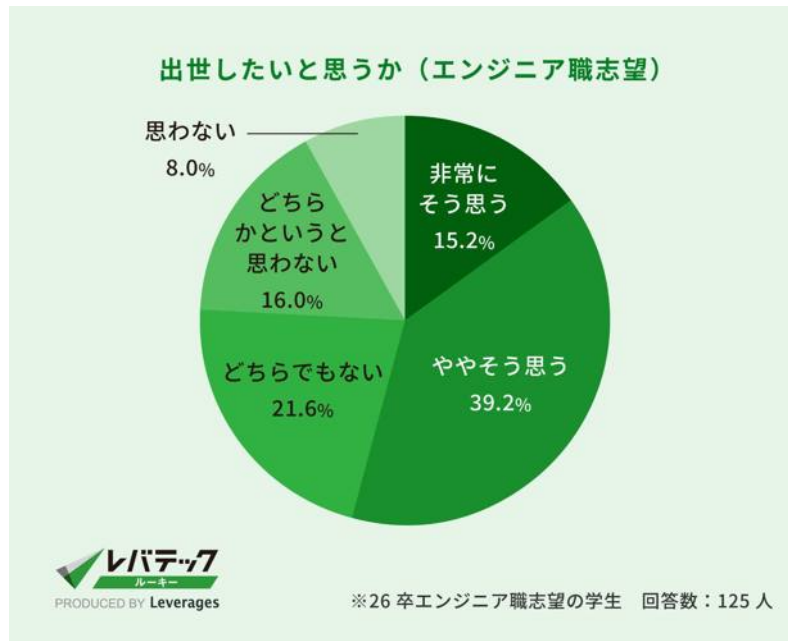
理想の初任給（希望職種別）



※回答数：325人

12.出世欲について

2026年卒のエンジニア職を志望する学生のなかで、将来「出世したい*7」と回答した学生は約54%でした。一方で、約4人に1人が「出世したくない*8」と回答しました。

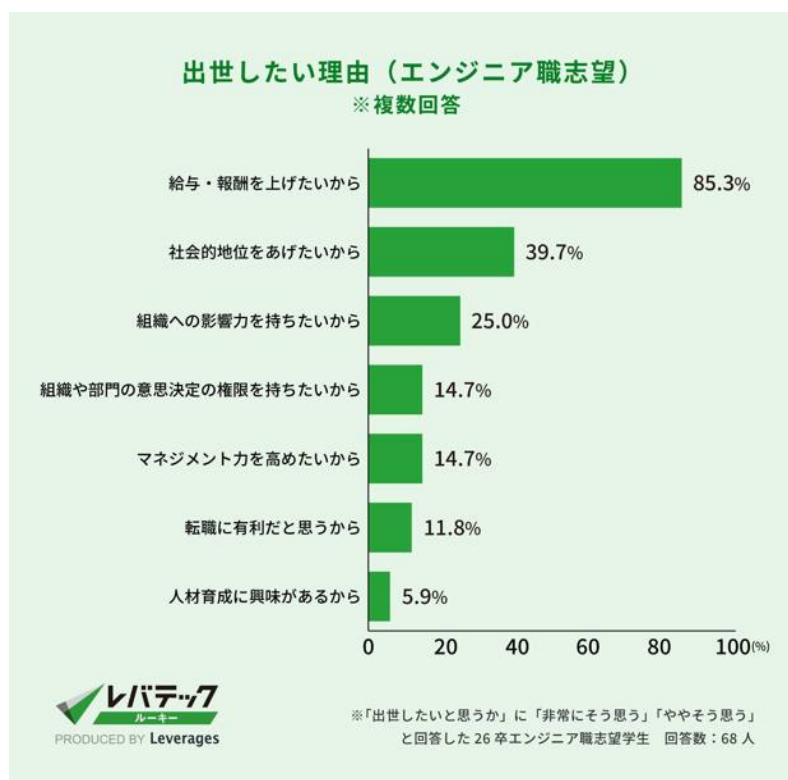


*7 「将来、出世したいと思うか」に対して「非常にそう思う(15.2%)」「ややそう思う(39.2%)」と回答した割合の合計(54.4%)を指す

*8 「将来、出世したいと思うか」に対して「どちらかというと思わない(16.0%)」「思わない(8.0%)」と回答した割合の合計(24.0%)を指す

出世したいと思う理由は「給与・報酬を上げたいから(85.3%)」が最も多い結果となりました。一方で、出世したくない理由の1位は「責任やストレスを感じるが増えそうだから(73.3%)」でした。その他、「管理職などの適性がないと感じるから(36.7%)」「業務や残業時間が多そうだから(36.7%)」も上位に挙がっています。給与アップを期待して出世を目指す学生がいる一方で、責

任やストレスの増加、適性への懸念から出世を望まない学生も一定数いることが明らかになりました。



出世したい理由（希望職種別）

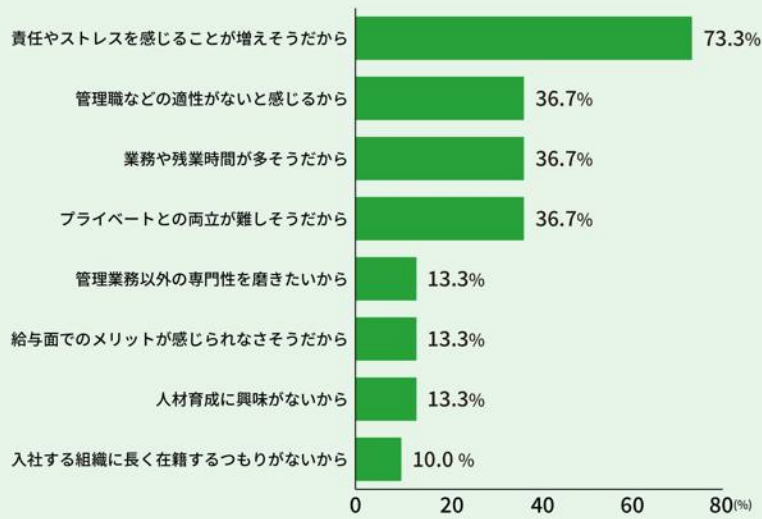
	全体 (N=150)	エンジニア職志望 (N=68)	エンジニア職以外志望 (N=82)
1位	給与・報酬を上げたいから (79.3%)	給与・報酬を上げたいから (85.3%)	給与・報酬を上げたいから (74.4%)
2位	社会的地位を上げたいから (39.3%)	社会的地位を上げたいから (39.7%)	社会的地位を上げたいから (39.0%)
3位	組織への影響力を持ちたいから (20.7%)	組織への影響力を持ちたいから (25.0%)	転職に有利だと思うから (20.7%)

レバテック ルーキー
PRODUCED BY Leverages

※「出世したいと思うか」に「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した 26 卒学生 回答数：150 人

出世したくない理由（エンジニア職志望）

※複数回答



PRODUCED BY Leverages

※「出世したいと思うか」に「どちらかというと思わない」「全く思わない」と回答した26卒エンジニア職志望学生 回答数：30人

出世したくない理由（希望職種別）

	全体 (N=89)	エンジニア職志望 (N=30)	エンジニア以外志望 (N=59)
1位	責任やストレスを感じるが増えそうだから (64.0%)	責任やストレスを感じるが増えそうだから (73.3%)	責任やストレスを感じるが増えそうだから (59.3%)
2位	管理職などの適性がないと感じるから (31.5%)	管理職などの適性がないと感じるから (36.7%)	管理職などの適性がないと感じるから (28.8%)
		業務や残業時間が多そうだから (36.7%)	
	プライベートとの両立が難しそうだから (31.5%)	プライベートとの両立が難しそうだから (36.7%)	プライベートとの両立が難しそうだから (28.8%)



PRODUCED BY Leverages

※「出世したいと思うか」に「どちらかというと思わない」「全く思わない」と回答した26卒学生 回答数：89人

<調査概要>

調査年月:2025年2月7日~2025年2月10日

調査方法:インターネット調査

調査主体:レバテック株式会社

実査委託先:GMOリサーチ&AI株式会社

有効回答数:325s

調査対象:2026年3月卒業予定の大学生・大学院生

レバテック株式会社

レバテック株式会社では、「日本を、IT先進国に。」をビジョンに掲げ、「IT人材と企業を増やし、伸ばし、繋げる」ためのプラットフォームの構築を目指しています。現在は業界最大手のITフリーランス専門エージェント「レバテックフリーランス」ほか、IT人材と企業を支援するための様々なサービスを提供。累計登録者は50万人を超えます。

▽「レバテックフリーランス」フリーランスエンジニア専門エージェント

<https://freelance.levtech.jp/>

▽「レバテッククリエイター」フリーランスクリエイター専門エージェント

<https://creator.levtech.jp/>

▽「レバテックダイレクト」ITエンジニア・クリエイター専門求人サイト

<https://levtech-direct.jp/>

▽「レバテックキャリア」エンジニア/クリエイター専門の転職支援

<https://career.levtech.jp/>

▽「レバテックルーキー」エンジニアに特化した新卒向け就職支援エージェント

<https://rookie.levtech.jp/>

▽「レバテックカレッジ」大学生・大学院生対象エンジニア就活特化のプログラミングスクール

<https://rookie.levtech.jp/college/>



Leverages Group (<https://leverages.jp/>)

本社所在地：東京都渋谷区渋谷二丁目24-12 渋谷スクランブルスクエア24F/25F

代表取締役：岩槻 知秀

資本金：5,000万円

設立：2005年4月

事業内容：自社メディア事業、人材関連事業、システムエンジニアリング事業、システムコンサルティング事業、M&Aアドバイザー事業、DX事業、メディカル関連事業、教育関連事業

社会の課題を解決し関係者全員の幸福を追求し続けることをミッションに、インターネットメディア・人材・システムエンジニアリング・M&A・不動産の領域で国や業界をまたいだ問題解決を行なっています。2005年の創業以来、黒字経営を継続し、2023年度は年商1149億を突破しました。各分野のスペシャリストが集うオールインハウスの組織構成と、業界を絞らないポートフォリオ経営で、時代を代表するグローバル企業を目指します。

本リリースに関する報道関係のお問い合わせ
レバレッジズ株式会社 広報部
TEL:03-5774-2900 MAIL: pr@leverages.jp